

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	学校法人天真林昌学園 天真幼稚園
実習期間	平成 30年 8月 6日 ～ 平成 30年 8月 10日
学生氏名	後藤 亜佳音
実習プログラム	<p>主な1日の流れ</p> <p>8:30 実習開始・園児と遊ぶ</p> <p>10:30 朝の会</p> <p>11:00 活動（プール、外遊び、食育など）</p> <p>12:00 園児と一緒に昼食</p> <p>13:00 昼寝補助</p> <p>14:00 振り返り</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>私は計画書で、幼稚園の特徴を知る・児童との関わり方を学ぶ・天真幼稚園での児童虐待の対応を聞くという3つのテーマをあげた。そのテーマにそって実習を行うことができ、たくさんの学びを得た。特に児童虐待の対応については、現場で働く職員の方の話を聞くという貴重な経験ができたし、講義等を通して得た知識と照らし合わせることで理解が深まった。児童との関わり方については、年齢に合わせた対応をすること、個別の対応と平等性のバランスの難しさなどを職員の方のアドバイスと実践を通して学ぶことが出来た。特に最終日の園長先生との振り返りで言われた「園児にどう育ててほしいか」という言葉が印象に残っており、児童の将来を視野に入れた長期的なサポートが大切であることを学んだ。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>私は児童福祉に関する仕事に就きたいと思っているが、身近に児童とコミュニケーションをとる機会が少なかった。今回の夏休み中に幼稚園でのインターンシップと児童養護施設での社会福祉士体験実習により、児童と接する機会を得て、児童との関わり方や児童と接するときに必要なことなどを多く学ぶことができた。また、自分に足りないことを見つめなおす機会にもなったため、この経験を基礎として学びを深めたいと思う。</p>
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>今回の実習は長期休業期間であったため預かり保育「なかよし」の体験だった。預かり保育「なかよし」では満3歳児から年長児までの異年齢の園児と一緒に生活している。玄関や靴棚、ネームプレートなどに施された発達過程に合わせた工夫や、先生方が行っていた異年齢の関わりを大切にしながらの年齢に合わせた援助が観察でき、それが印象的であった。また、先生方と園児の信頼関係がしっかり構築されていると感じることが多かったし、園児が楽しそうに天真幼稚園での時間を過ごす姿を見ることができ、園児にとって安心していただける居場所になっていることが伝わってきた。</p>